

群馬県相談支援専門員協会 第2回定例会【分散会】報告

日時:令和5年11月30日(木) 19:00~20:30

場所:太田会場(生活介護事業所 まあぶる)

吉岡会場(田中病院 よしおか館)

高崎会場(さわらび医療福祉センター 浜川こどもとおとなサポートSection)

○「他職種連携」を主なテーマとし、それぞれの会場で活発な情報交換ができました。

太田会場(参加者:9名)

・こども園や学校との連携、ワーカーさん、それぞれ連携しやすい所とそうでない所があって、苦労することがある。

・民生委員さんとの連携は、誰が窓口？

・基幹の相談員だからこそ感じていること・・・近い存在である機関との連携が実はなかなかできていないことも・・・と悩みを共有。

などなど、様々な意見交換ができました。

新たな情報として、LINEで相談支援専門員の全国展開のオープンチャットグループがあって、そこに何か質問等を投げかけると、色んな意見が出てきて、やりとりができるということも知ることができました。



吉岡会場(参加者:6名)

- ・精神科病院とクリニック、ソーシャルワーカーのいる・いないで連携しやすさが大分違う
 - ・緊急でも入院させてくれる病院は？発達障害をみてもらえる先生はどこにいる？
 - ・介護移行の相談は包括と窓口が明確な地域と、そうでない地域がある
 - ・高崎市は65歳以降も障害サービスを使う場合、計画とは別の書類を更新のたびに提出しなければならない、ハードルが高い。
- などなど、連携の悩みもさることながら、色々な地域の情報交換もしました。



高崎会場(参加者:9人)

- ・学校へ担当者会議の連絡をする時に、初めての担当者には、定型文を作って説明すると理解してもらいやすい
- ・医療との連絡はMCSを使うと相手が見られる時間に確認でき、グループで利用計画や訪問看護の報告も共有できる
- ・介護保険への切り替え時にケアマネによって引継ぎがスムーズにいく時かない時がある…ケアマネと相談支援専門員では担当ケースの数が違うので、訪問の頻度など違うのは仕方ない。ケアマネの会に障害福祉の説明をする機会もあったが、なかなかわかりあえない…。という話が出ました。





分散会ということで、普段の定例会にはなかなか行けない(>_<)という方も参加してくださり、どの会場も、話・笑いが多く、和やかな雰囲気であつという間に時間が過ぎていたようでした♪

広報交流担当:吉越・君野・中林